
想い

紀本 真利亜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

想い

【Nコード】

N0465E

【作者名】

紀本 真利亜

【あらすじ】

会えない人からのメッセージです。

（前書き）

いつも傍にいてくれたあの人への想い。届いていますか？今の私に出来る事は貴方を見守る事しか出来ません。

聞こえますか

私の声があなたに聞こえていますか

届いてますか

私の想いがあなたに届いていますか

あなたは私の事に気づいているのかな

私はいつもあなたの傍にいたいのに

でもそれはもう出来ない事だから

だって…

私はあなたの事がとても尊いの

大好きだし愛しているから

だからいつもいつも見守っているよ

あなたがくしゃみをしたのなら

私の仕業と思ってください

あなたに風が吹いたのなら

私と思ってください

あなたの今はとっても

楽しそうだね

やっと笑顔も出てきたしね

あなたの笑顔はあの時と

やっと変わらなくなってきたよ

私だけの笑顔だったのに…

たまにで良いので私の事を思い出してね

あの楽しかった日々を

二人で過ごした想い出を

たまにで良いから

ちよつとだけ想いにふけつて

あなたは私には会えないけど

私はあなたを見守っているからね

その時が来るまで

ずっと…

聞こえますか

私の声があなたに聞こえていますか

きっと聞こえていないよね

届いてますか

私の想いがあなたに届いていますか

きつと届いていないよね

でもそれでも良いの

私はあなたを悲しませたから

私が旅立ってしまったから

あなたを置いていってしまったのだから

だから私はあなたが幸せになれる日まで

毎日見守っているからね

聞こえない声で

届きもしない想いを

あなたが寂しがないように

聞こえていなくても届いていなくても

見守るから

ちょっとイヤだけどあなたが新しい幸せを

掴むその日まで

新しい幸せが来ても

私の事を思い出してね

あの楽しかった日々を

二人で過ごした思い出を

たまにで良いから

ちよつとだけ思い出して

そして…

想いにふけって

私達にも幸せだった日があったという事と

私が元気だった頃の私の事を思い出してね

そして心の中で話し掛けてください

きつと夢の中で返事をしますから

どうか私の分まで幸せになってください

（後書き）

現実離れた詩ですが読んでくれて有難うです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0465e/>

想い

2010年10月9日04時56分発行